

## 2017年度言語文化研究会活動報告

(2017年度学生運営委員 海老塚日菜子)

<言語文化研究会総会（6月20日）>

23201教室にて、昨年度の活動報告と会計報告を行った。また、新会則、今年度の運営体制、予算が承認された。

<阿部優子先生による講演会（6月20日）>

言語文化研究会の総会後に行われた。「アフリカへことばをつかまえに行く」をテーマにお話頂いた。ことばを追って遠い地へと赴いた先生のお話やバイタリティあふれるお姿は、同じように言語を学ぶ学生にとって大きな刺激となったであろう。

<ゼミの話を聞く会（10月12日、17日）>

ゼミの選択を控えた2年生を対象に各ゼミの3、4年生有志との対話の場を設けた。昨年度の2日間に渡る開催が好評であったのを受け、今年度も2日間に渡り開催をした。2年生は各々興味を持った分野のゼミのブースへと赴き、上級生からの話に熱心に耳を傾けていた。

<言語文化研究会主催講演会（12月19日）>

沖縄方言（うちなーぐち）講師の比嘉光龍氏に、「日本の少数言語は琉球諸語とアイヌ語だけ？」という題でご講演いただいた。

「言語」と「方言」の問題について、多くの来場者が熱心に耳を傾けていた。日本の「方言」と呼ばれていることばもそれぞれが「言語」であり、それを「方言」としてしまうことはその土地の文化や歴史、アイデンティティを否定しているのではないかと、という比嘉氏の投げかけに参加者が気付かされたことも多いのではないだろうか。講演会のあとは、おきなわの民謡ライブも行われ、大変有意義な講演会であった。